

## 株主・投資家の皆様へ



代表取締役社長 長見 善博(左)

代表取締役副社長 園田 育伸(右)

### MANAGEMENT MESSAGE

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2024年10月にジーエルサイエンス株式会社およびテクノクォーツ株式会社の経営統合により発足し、この度第2期を迎えました。統合後の事業運営においては、分析機器、半導体、自動認識というそれぞれ異なる強みを持つ事業について、グループとしての総合力を一層高めるべく、経営資源の最適配分と事業基盤の強化に努めてまいりました。これは、持続的な成長と企業価値向上を実現するための重要な歩みであると考えております。

私たちの事業は、人々の暮らしの安全・安心を支えるものとして社会にとって欠かすことのできない領域に広がっており、科学技術の進歩、ものづくりの高度化に伴って、その重要

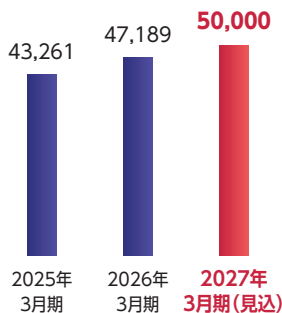
性は一層高まっています。こうした中、当社グループは「人と社会の可能性を触発する」というミッションのもと、社会課題に真摯に向き合い、お客様に寄り添った価値提供を通じて、収益の拡大と社会への貢献の両立を目指して取り組んでいます。

当社グループは、コーポレートメッセージである「Search for a Way — 次のイノベーションのそばに。」に込めた思いを行動の原点とし、変化する市場環境の中にあっても、より良い手段を模索し、新たな価値の創造に挑戦し続けます。今後も、グループの総力を結集し、社会に必要とされる技術と価値を生み出し続ける企業として、さらなる発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

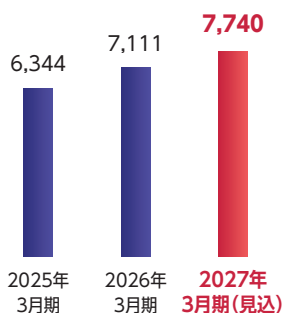
#### ▶ 売上高

(単位:百万円)



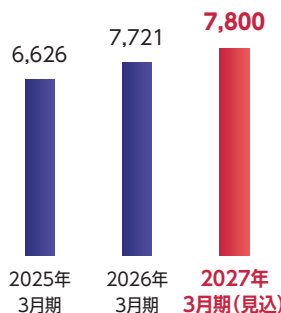
#### ▶ 営業利益

(単位:百万円)



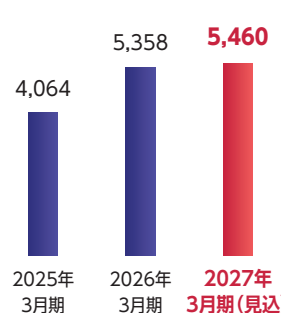
#### ▶ 経常利益

(単位:百万円)



#### ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



2025年3月期に関しては、2024年10月1日に経営統合を行っている関係で、第2四半期までは当期純利益の一部が非支配株主帰属分として計上されており、親会社株主に帰属する当期純利益から控除されています。

ジーエルテクノホールディングス株式会社

**GL Sciences**

**ジーエルサイエンス株式会社**  
東京都新宿区西新宿6-22-1  
新宿スクエアタワー30F

**ジーエルサイエンス株式会社**  
(1968年設立)

**分析機器事業**

クロマトグラフィーの技術で  
あらゆる分析を支える

分析装置とカラムなど消耗品の企画・開発から販売・サポートまで一貫対応し、多様な産業の成分分析を幅広く支えています。



クロマトグラフィー関連消耗品    ガスクロマトグラフ    試料前処理装置

**TECHNO QUARTZ INC.**


**テクノクォーツ株式会社**  
東京都中野区本町1-32-2  
ハーモニータワー12F

**テクノクォーツ株式会社**  
(1976年設立)

**半導体事業**

最先端の加工技術で  
世界の半導体製造を支える

半導体製造装置向け高純度石英ガラスと結晶シリコンパーツの製造販売を主力に、高品質なモノづくりに取り組んでいます。



機械加工    火炎加工    拡散接合    シリコン加工

**GL Solutions**

**ジーエルソリューションズ株式会社**  
東京都台東区松が谷1-3-5  
上野イーストビルG1

**ジーエルソリューションズ株式会社**  
(2013年設立)

**自動認識事業**

非接触ICカード技術で  
より快適な社会を実現する

非接触でICタグを読み書きする自動認識技術(RFID)のパイオニアとして、先端技術を駆使し情報化社会の進化に貢献しています。



機器組込型リーダライタ    壁付型リーダライタ    鍵管理ボックス

SEGMENT OVERVIEW

事業別売上高の概況

**自動認識事業 売上高 1,980百万円**

自動認識事業におきましては、医療業界向け専用装置への組み込みモジュールなどが堅調を維持し、分析機器事業との協働による販売も拡大したものの、外部顧客への売上高は前期実績を下回りました。機器組込製品の受託開発案件を積極的に推進することで収益性の改善・拡大を目指します。

売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
2025年 3月期: 1,982	2025年 3月期: 115
2026年 3月期: 1,980	2026年 3月期: 50

対前期比  $\Delta 0.1\%$     対前期比  $\Delta 56.1\%$

**分析機器事業 売上高 21,549百万円**

分析機器事業におきましては、国際情勢が不透明な状況が続く中でも、国内外ともに売上高は堅調に推移しました。日本国内においては、環境・食品を中心に幅広い分野にて需要が底堅く推移しました。海外においても、第2四半期にて上市した新製品Inertsil Hybrid-C18を中心とした液体クロマトグラ用カラムの販売が好調であったことに加え、ガスクロマトグラフ関連の周辺装置や、固相抽出カートリッジなどの販売が売上増を牽引いたしました。

売上高 (百万円)
2025年 3月期: 19,965
2026年 3月期: 21,549

対前期比  $+7.9\%$

**半導体事業 売上高 23,659百万円**

半導体業界におきましては、AI向けデータセンターや生成AI関連製品の需要の拡大を背景に、業界全体が活況となっております。このような環境の中、さらなる成長に向けて、新規需要の掘り起こしや増産体制構築に向けた準備を進めております。こうした取り組みと市況回復を見込んだ各社の先行投資を背景に受注高は急増し、売上高も期初の計画を上回ることができました。

売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
2025年 3月期: 21,313	2025年 3月期: 4,167
2026年 3月期: 23,659	2026年 3月期: 4,686

対前期比  $+11.0\%$     対前期比  $+12.5\%$

**売上高構成比 (2026年3月期)**

4.2%    45.7%    50.1%

営業利益 (百万円)
2025年 3月期: 2,045
2026年 3月期: 2,345

対前期比  $+14.6\%$

経営目標

2019.3－2021.3  
2021年3月期実績

売上高	292億円
営業利益	38億円
営業利益率	13.2%
ROE	10.0%

2022.3－2024.3  
2024年3月期実績

売上高	371億円
営業利益	57億円
営業利益率	15.4%
ROE	10.8%

2025.3－2027.3  
現中期経営計画

2027年3月期計画 ▶

売上高	500億円
営業利益	77億円
営業利益率	15.5%
ROE	13%以上

持続的  
成長へ

持続的な成長への戦略投資 ▶

この3か年においては、2027年3月期よりもさらに先の成長も見据えた設備投資を行っております。分析機器事業では、カスタムメイドのガスクロマトグラフの生産能力を増強いたしました。半導体事業においては、山形県および福島県の国内2拠点に新しい生産棟を建設する他、ベトナムに現地法人を設立し、生産能力のさらなる増強を進めております。

事業競争力を重視した成長戦略 ▶

3つの事業セグメントそれぞれについて、各事業環境に対応しながら成長させていく計画を立てております。分析機器事業では、海外販売を強化しつつ日本国内においても提案の幅を広げてまいります。半導体事業においては、生産能力の増強と並行して新規顧客の開拓にも注力します。自動認識事業においてもスマートフォン対応を進めるなど、昨今の技術トレンドも取り込んだ施策を展開しております。

TOPIC

生産能力増強に向けた拠点拡大が順調に進行

海外

ベトナム・ニンビン省の新工場建設に向けて準備中

目的 半導体需要の拡大に伴う供給体制強化と生産ネットワーク再構築

工場新設により見込むことができる将来効果

▶生産能力の増強

完全稼働時における**石英製品**の生産能力は年間売上高ベースで**30億円**以上

▶アクセス強化および

柔軟かつ迅速な市場ニーズへの対応

- 米国の対半導体規制をふまえ、供給網の多元化と貿易リスクへの体制強化
- 輸送コストの削減および環境負担の低減
- 豊富な労働力と人件費のコストメリット活用による価格競争力の強化

工場建設に向けた進捗状況

2025年12月、ベトナム・ニンビン省現地にて地鎮祭を催行。2026年1月より本格的な建設工事を開始。



ベトナム新工場の地鎮祭の様子

国内

2拠点において設備投資を実施

火加工製品の生産能力増強(山形市)および機械加工の自動化(喜多方市)を推進

山形県山形市  
2027年1月稼働予定

福島県喜多方市  
2026年5月より稼働開始



## ● 会社概要

商号	ジーエルテクノホールディングス株式会社
英文名	GLTECHNO HOLDINGS, INC.
設立年月日	2024年10月1日
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目22番1号 新宿スクエアタワー30階
事業内容	分析機器事業/半導体事業/自動認識事業
従業員数	連結:1,245名(パートタイマーを除く)

## ● 役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役社長	長見 善博
代表取締役副社長	園田 育伸
取締役	梅原 幸治
取締役 (常勤監査等委員)	齋藤 隆広
取締役 (監査等委員)	永沢 裕美子
取締役 (監査等委員)	森田 岳人

## ● 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	13,025,870株 (自己株式655,360株を除く)
株主数	6,808名

## ● 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ジーエルテクノホールディングス従業員持株会	906,802	6.96
株式会社島津製作所	580,000	4.45
森 禮子	527,094	4.05
光通信 KK 投資事業有限責任組合	487,500	3.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	429,800	3.30
東京中小企業投資育成株式会社	425,700	3.27
公益財団法人世界自然保護基金ジャパン	400,000	3.07
INTERACTIVE BROKERS LLC	376,762	2.89
J.P. MORGAN SE-LUXEMBOURG BRANCH 381639	256,000	1.97
西川計測株式会社	226,900	1.74

(注)当社は、自己株式655,360株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会議決権行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日(現在、中間配当は行っていません)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	<a href="https://www.gltechno.co.jp/ir/shareholders/notice.html">https://www.gltechno.co.jp/ir/shareholders/notice.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)